

▼伊勢崎銘仙フェスティバル(会場:伊勢崎市緋の郷)

13日
14日 世界遺産候補「富岡製糸場と絹産業遺産群」写真展 ~写真家 清水襄の世界~

場所●緋の郷 1階 交流室
展示●「富岡製糸場と絹産業遺産群」写真(撮影:清水襄氏)
世界遺産候補「富岡製糸場と絹産業遺産群」パネル
解説●富岡製糸場世界遺産伝道師協会
10:00~16:00 随時解説

伊勢崎銘仙つるし雛の展示
場所●緋の郷 らせん階段
内容●地元パッチワーク愛好者30人の協力による伊勢崎銘仙の古布で作ったつるし雛の展示等
10:00~16:00

はたおり無料体験
場所●緋の郷 3階 第1高機教室
内容●織物ボランティア「織りの会」の協力によるコースター織り体験
10:00~16:00

織物ボランティア「織りの会」作品の展示販売
場所●緋の郷 3階 第2高機教室・第7交流室
内容●織物ボランティア「織りの会」会員の作品展示、販売
10:00~16:00

伊勢崎の味!試食体験
場所●緋の郷 円形交流館入口テント

| | |
|-----------------------------------|--------------------------------------|
| 13日 10:00~ | 14日 11:00~ |
| 内容●いせさきもんじゃ体験 (協力:伊勢崎商工会議所青年部) | 内容●焼きまんじゅう炭焼き無料体験 (協力:焼きまんじゅう愛好会) |

伊勢崎の作家3人展
場所●緋の郷 2階 第5交流室
内容●小暮重男(草木染)、伊藤正義(刀刻)、新井ゆり子(琉球紅型)3氏の作品展示と販売
10:00~16:00

伊勢崎織物協同組合絨製品などの展示と販売
場所●緋の郷 2階 第6交流室
内容●組合所蔵のポスター、着尺、着物、絨製品の展示と販売
10:00~16:00

伊勢崎の物産品展示と販売
場所●緋の郷 2階 第4交流室
内容●伊勢崎市物産協会等の物産品展示販売
10:00~16:00

おっさりこみ販売
場所●緋の郷 2階 第3交流室
内容●伊勢崎市食生活改善推進協議会の協力による「おっさりこみ」の販売
10:00~16:00

14日 思い出の伊勢崎銘仙 & ファッションショー
場所●緋の郷 4階 多目的ホール
定員●150人

| | |
|-------------|--|
| 10:00~10:45 | 思い出の銘仙展調査報告会 ・絨製作工程映像紹介 ・絨保存実態調査報告 ・私の銘仙の思い出を語る |
| 11:00~12:00 | 伊勢崎銘仙ファッションショー ・「いせさき銘仙の会」50人によるパフォーマンス |

▼お申し込み・お問い合わせ

フィールドミュージアム「21世紀のシルクカントリー群馬」推進委員会事務局 上毛新聞社内
役員室 TEL027-254-9988 FAX027-254-9906 Eメール jigyo2@raijin.com

▼アクセス



緋の郷
伊勢崎市昭和町1712-2
TEL.0270-21-6711

- 車をご利用の場合
無料駐車場200台
- 電車をご利用の場合
JR伊勢崎駅よりいせさきコミュニティバス(無料)伊勢崎駅北巡回バスの「緋の郷」バス下車。

境島小学校
伊勢崎市境島村1968-40
(学校への直接のお問い合わせは、ご連絡ください)

- 車をご利用の場合
無料駐車場100台
境島小学校校庭



島村養蚕農家群

絹の物語 未来へ

シルクカントリー in 伊勢崎

フィールドミュージアム「21世紀のシルクカントリー群馬」推進委員会と群馬県などが主催の「シルクカントリーin伊勢崎」が開かれます。文化庁の地域文化芸術振興プラン推進事業の支援を受け、2日間にわたるイベントでは、蚕種で栄えた伊勢崎市境島村をテーマにしたシンポジウムをはじめ、俳句会、伊勢崎銘仙フェスティバルなど、子供たちも楽しめる多彩なイベントを実施。絹産業を通して近代日本の礎を築いた郷土の先人の足跡や精神をたどります。

2010年3月 会場◆

13日
14日
入場無料

境島小学校
(伊勢崎市境島村1968-40)

[13日(土)] 10:00~16:00
絹の国俳句ラリー&トーク

[14日(日)] 13:30~16:30
シルクカントリー群馬シンポジウム

[13日(土)・14日(日)] 10:00 10:30 11:00
親子で歩こう!島村町並み解説会

緋の郷
(伊勢崎市昭和町1712-2)
伊勢崎銘仙フェスティバル

※同時開催のイベントなどは他の面で紹介しています

主催●文化庁、子どもの文化力向上実行委員会、群馬県、伊勢崎市、ぐんま島村蚕種の会、フィールドミュージアム「21世紀のシルクカントリー群馬」推進委員会
共催●上毛新聞社、群馬県教育委員会、伊勢崎市教育委員会、伊勢崎市観光協会、富岡製糸場世界遺産伝道師協会
後援●シルクカントリーぐんま連絡協議会、伊勢崎織物協同組合、伊勢崎商工会議所、境島村地区区長会、群馬県蚕糸振興協会、群馬県教育振興会、群馬県ユネスコ連絡協議会、日本放送協会前橋放送局、群馬テレビ、文化財建造物保存技術協会、日本イコモス国内委員会
協力●伊勢崎市立境島小学校、剛志民謡保存会



フィールドミュージアム「21世紀のシルクカントリー群馬」推進委員会
養蚕・製糸・織物などの歴史遺産を生かした群馬県の地域づくりを構想するため2005年に発足した。県内外の有識者8人が委員を務め、上毛新聞社内に事務局がある。これまで富岡市や東京、六ヶ村、桐生市で世界遺産をテーマにしたシンポジウムや県民参加イベントを開催している。

島村の養蚕農家群と 史跡散策マップ



日本の近代化の中で、富岡製糸場に代表される絹産業の功績は有名です。とりわけ蚕の卵(蚕種)や養蚕にかかわる生産者も重要な役割を果たしてきました。安政6(1859)年の横浜開港により蚕種の輸出が盛になると、明治5(1872)年に上州佐位郡島村(現伊勢崎市境島村)の豪農、田島弥平は、田島武平らと島村勸業会社を設立し、優良な蚕種を生産し輸出しました。さらに明治

12(1879)年から15(1882)年まで、生産した蚕種を直輸出するためにイタリアに渡りました。また、田島弥平は養蚕技術の改良にも取り組み、明治5年には、蚕を風通しの良い状態で飼う「清涼育」という技術を確認し、「養蚕新論」を著して普及に努め、日本の近代養蚕の基礎を築きました。

▶ 蚕のむら島村！再発見(場所：境島小学校ほか)

13日 **絹の国俳句ラリー&トーク**
 場所●境島小学校体育館
 島村養蚕農家群
 講師●加賀美幸子(かがみさちこ)
 =元NHKアナウンサー
 演題●心を動かす言葉
 定員●200人(要事前申込)
 10:00~11:00 俳句ラリー受付
 (希望者は町並み解説に参加)
 12:00 投句メチ
 13:50~14:00 桑摘み唄
 剛志民謡保存会
 14:00~15:15 加賀美幸子さんのトーク
 15:30~16:00 俳句ラリー表彰式

14日 **シルクカントリー群馬シンポジウムin伊勢崎**
 ~世界を駆けた蚕の村と伊勢崎の未来~
 場所●境島小学校体育館
 定員●200人(要事前申込)
 主催者挨拶 13:30~13:45
 基調講演 13:45~14:45
 講師：丑木 幸男
 別府大学教授
 演題：蚕種直輸出と島村の国際性
 パネルディスカッション 15:00~16:30
 ■パネリスト
 丑木 幸男 別府大学教授
 清水 慶一 国立科学博物館参事
 田中 尹 鶴岡織物工業協同組合理事長
 田島 健一 ぐんま島村蚕種の会会長
 ■コーディネーター
 萩原 哲 上毛新聞社役員待遇編集局長

13日 **親子で歩こう！島村町並み解説会**
 集合場所●境島小学校体育館前
 定員●各20人(要事前申込)
 資料展示●島村歴史資料展示
 (3/13のみ 新地集落センター)
 解説者●ぐんま島村蚕種の会
 出発●10:00 10:30 11:00 3回
 所要時間●約1時間

目で見る島村の歩み写真展
 場所●境島小学校体育館
 内容●島村養蚕農家、蚕種業の足跡等の写真展示
 10:00~17:00 随時

島村の農産物等直売
 場所●境島小学校体育館前
 内容●ネギ、ヤマトイモなど境島村の農産物、繭クラフトを直売
 10:00~17:00 ただし売り切れ次第終了

島村の地元野菜たっぷりのすいとん等の販売
 場所●境島小学校体育館前
 内容●島村の農家が生産した野菜を使ったすいとん、おにぎりの販売
 11:00~14:00
 先着150名。売り切れ次第終了

島村渡船
 8:30~17:00 随時

※事前申し込み先は裏面をご覧ください。



1 田島弥平宅(現田島健一宅)
 養蚕技術の改良に取り組み、「清涼育」という蚕を風通しのよい状態で飼育する方法を考案した田島弥平の住宅。



2 島村教会
 外国への蚕種の直輸出などを通じてキリスト教がもたらされ、明治30(1897)年に礼拝堂が現在地に建てられた。



3 田島弥平顕彰碑
 養蚕の技術書「養蚕新論」を著した田島弥平を顕彰するため、1894(明治27)年に娘、たみによって建てられた。



4 島村蚕種業績碑
 蚕種製造所の跡地の公園に建ち、往年の島村地区の繁栄をたたえている。



5 島村渡船場
 県道新地今泉線の利根川渡し船施設として運行されている。約400メートルの航路は5分ほどで渡りきる。



6 金井烏洲生家
 江戸末期の画家で詩文家の金井烏洲の生家。敷地内には烏洲のアトリエ「呑山楼」も残されている。



7 島村沿革碑
 島村の歴史について、古老が地図を示しながら、利根川の変せんと蚕種業の隆盛を語る構成になっている。